

風の子デイキャンプ(1月)

- 開催日 2018年1月7日
- 会場 多摩川河川敷（神奈川県川崎市）
- ディレクター名 小比類巻 友紀子（ねぷた）

■キャンプのねらい

- ・外でおもいっきり遊ぶことで、「楽しかった!」「また来たいな!」の気持ちを持って帰ってもらう。
- ・初めてなことで、新たなお友だちと一緒にやってみる。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

らむ、おぐしお、ミシェル、だのん、まも〜、のんちゃん

■活動内容

<午前>
 集合、電車移動
 全体レクリエーション
 昼食

<午後>
 凧づくり&凧揚げ
 おやつタイム
 電車移動、解散



からだじゃんけんて心と身体のウォーミングアップ!



お昼ご飯のあとは河川敷を探検だ!



これから凧作り。どんな凧ができるかな?



自分だけのオリジナルデザインの凧を描きました。



青空の下、凧揚げに挑戦しました。



凧を高く揚げることができ、子どもたちの表情はより輝いていました。

■キャンプのエピソード

それぞれの楽しみ方

ビニール凧にタコ糸を結ぶ工程で、スタッフの「手伝う?」という問いに「自分でやってみる」とチャレンジしたAちゃん。「これでいいの?」とスタッフに聞きながら、自分の力で凧を完成させました。笑顔いっぱいな表情から、達成感が伝わってきました。

また一方で、遊びを生み出すのが上手なB君。釣り竿を作り、「次来た時のために隠しておこう」とワクワクした様子。その瞬間、その場で、それぞれの子もたちが夢中になり、楽しみを見つけ、色んな感情を味わう。こうした多様性も大切にしていきたいと思っています。

やればできるということ

作った凧を完成させた子から次々と始まった凧揚げ。最初はなかなかうまく揚がらず、苦労する様子がありました。そんな時は少し難しくても、風の読み方、糸の操り方を伝えてみます。

やがて、スタッフのアドバイスをもとにコツを掴んだ子どもたちの中には、より高く揚げることを目指す子や、安定する高さで揚げ続けられる子などが出てきました。「凧をうまく揚げたい!」その執念が、コツを習得し、練習し続ける熱意に代わります。結果うまくいく。「やればできる!」という経験を積み、自信につながる活動を今後も目指してい参ります。